

■ 写真で見る昭和と現在（平成27年）の公共職業安定所の様子



写真 市制施行前（昭和28年代）の公共職業安定所の様子 ※犬山市所蔵



写真 現在（平成27年）の公共職業安定所の様子

⑦ 愛知県警察犬山警察署の変遷について

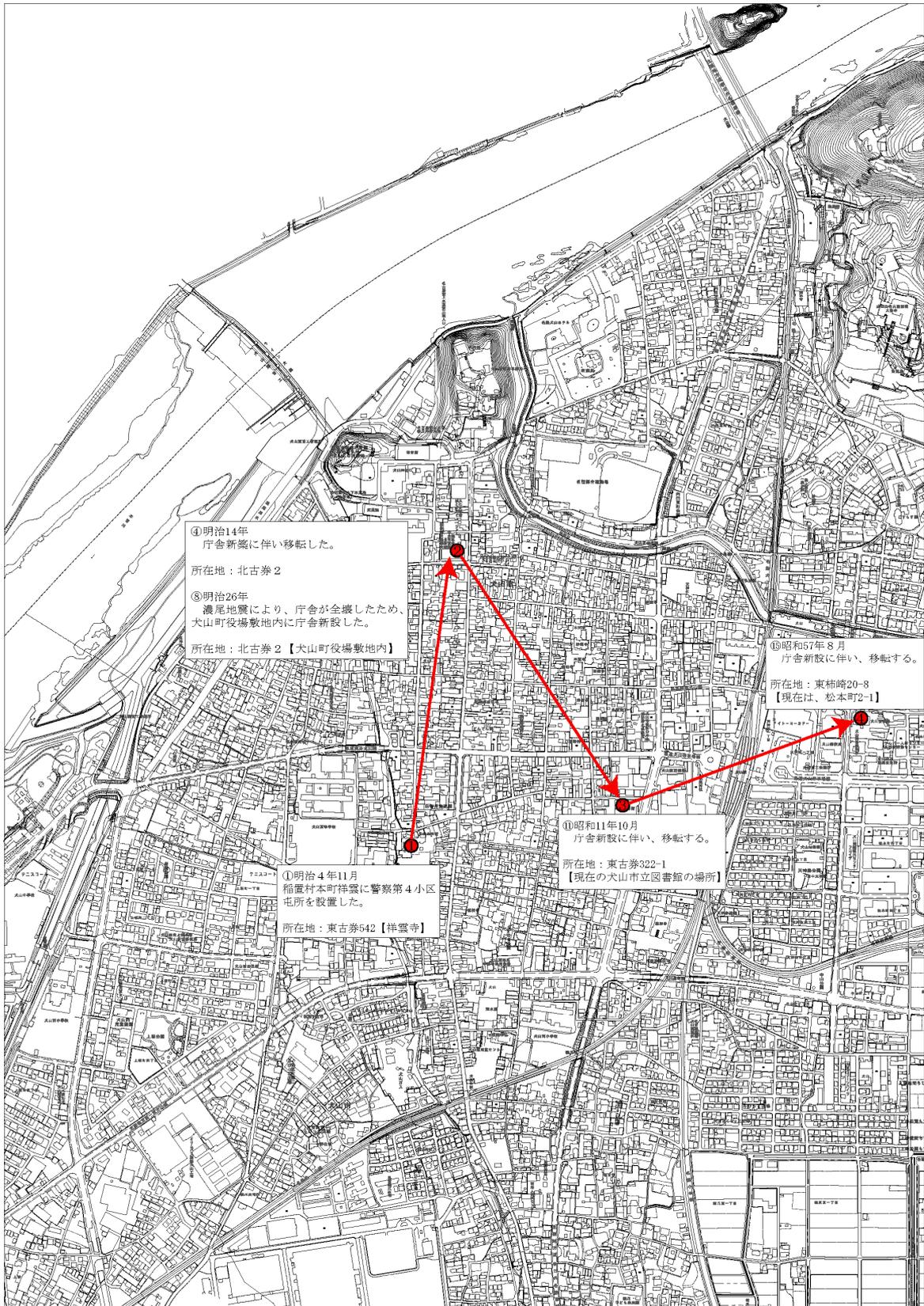
■ 愛知県警察犬山警察署の変遷

※『犬山市史史料編6』を参考

---

- (1) 明治4年11月  
稲置村本町祥雲寺内に「警察第4小区屯所」を設置。  
●所在地：南古券5【祥雲寺敷地内】
- (2) 明治10年7月20日  
内務省通達により、「屯所」を「分所」に改め、「一ノ宮警察署第一部稲置分署」を開設。
- (3) 明治12年11月1日  
「稲置警察署」と改称。
- (4) 明治14年  
庁舎新築に伴い移転。  
●所在地：北古券2【現在の福社会館の場所】
- (5) 明治20年  
官制改革により「一ノ宮警察稲置分署」となった
- (6) 明治22年10月31日  
町村制実施により一郡一警となり「小牧警察署犬山分署」となった。
- (7) 明治24年10月28日  
濃尾大地震により庁舎が全壊。
- (8) 明治26年  
犬山町役場敷地内に庁舎新設。  
●所在地：北古券2【現在の福社会館の場所】
- (9) 明治27年12月10日  
「布袋警察署犬山分署」となった。
- (10) 明治40年5月18日  
町村合併により「犬山警察署」を設置。
- (11) 昭和11年10月  
庁舎新設に伴い移転。  
●所在地：東古券322-1【現在の犬山市立図書館の場所】
- (12) 昭和23年3月7日  
犬山町に自治体警察となり、「犬山町警察署」設置、犬山町警察署庁舎内「丹羽地区警察署犬山警部補派出所」を設置。
- (13) 昭和26年10月1日  
犬山町警察署廃止、「国家地方警察愛知県丹羽北地区警察署」を設置。
- (14) 昭和29年7月1日  
国家地方警察廃止、「愛知県犬山警察署」が発足。
- (15) 昭和57年8月 新庁舎完成し移転。  
●所在地：東柿崎20-8【現在の松本町1-2】

■ 愛知県警察犬山警察署位置の変遷について



1/7200

■ 写真で見る昭和と現在（平成27年）の愛知県警察犬山警察署の様子



写真 市制施行前（昭和28年）の愛知県警犬山出張所の様子 ※犬山市所蔵



写真 現在（平成27年）の犬山警察署の様子

### 3. 犬山城下町地区における教育施設の変遷

#### ① 犬山市立犬山北小学校の変遷について

##### ■ 犬山市立犬山北小学校の変遷

※『学校沿革誌』を参考

(1) 明治6年

旧犬山藩代官所跡に「琢成義校」を起し祥雲寺内に「稲黄義校」を設置。

●所在地：(1)北古券2周辺【琢成義校：旧犬山藩代官所跡】

※犬山北小学校の正門から南東に当たる場所)

(2)南古券5【稲黄義校：祥雲寺内】

(2) 明治10年2月20日

聯区改正の結果、琢成義校を「第一番稲置学校」、稲黄校を「第二番稲置学校」に改称し、練屋町に分校をおき、第三番稲置学校とした。

(3) 明治20年

「尋常小学稲置学校」に校名改称し、分場を常満寺、専念寺、練屋町に設置。

●所在地：(1)西古券281【分場：常満寺】

(2)西古券262【分場：専念寺】

(3)不明【分場：練屋町】

(4) 明治22年5月28日

名栗町(元宮)に校舎を移築し、常満寺分場を演武場に移した。

●所在地：東古券133-1【名栗町元宮】

(5) 明治25年

「犬山学校」に校名を改称し、市町村制改正の結果、「犬山町立尋常小学校」と改称。

(6) 明治40年

町村合併の結果、「犬山第1尋常小学校」と改称し、「犬山高等小学校」及び熊野町に分教場を設置。

●所在地：(1)北古券9【分教場：犬山高等小学校敷地内】

(2)不明【分教場：熊野町】

(7) 明治43年

「犬山北尋常小学校」に校名を改称。

(8) 大正4年

丸の内に校舎を新築移転し、分教場を閉校。

●所在地：北古券2【現在地】

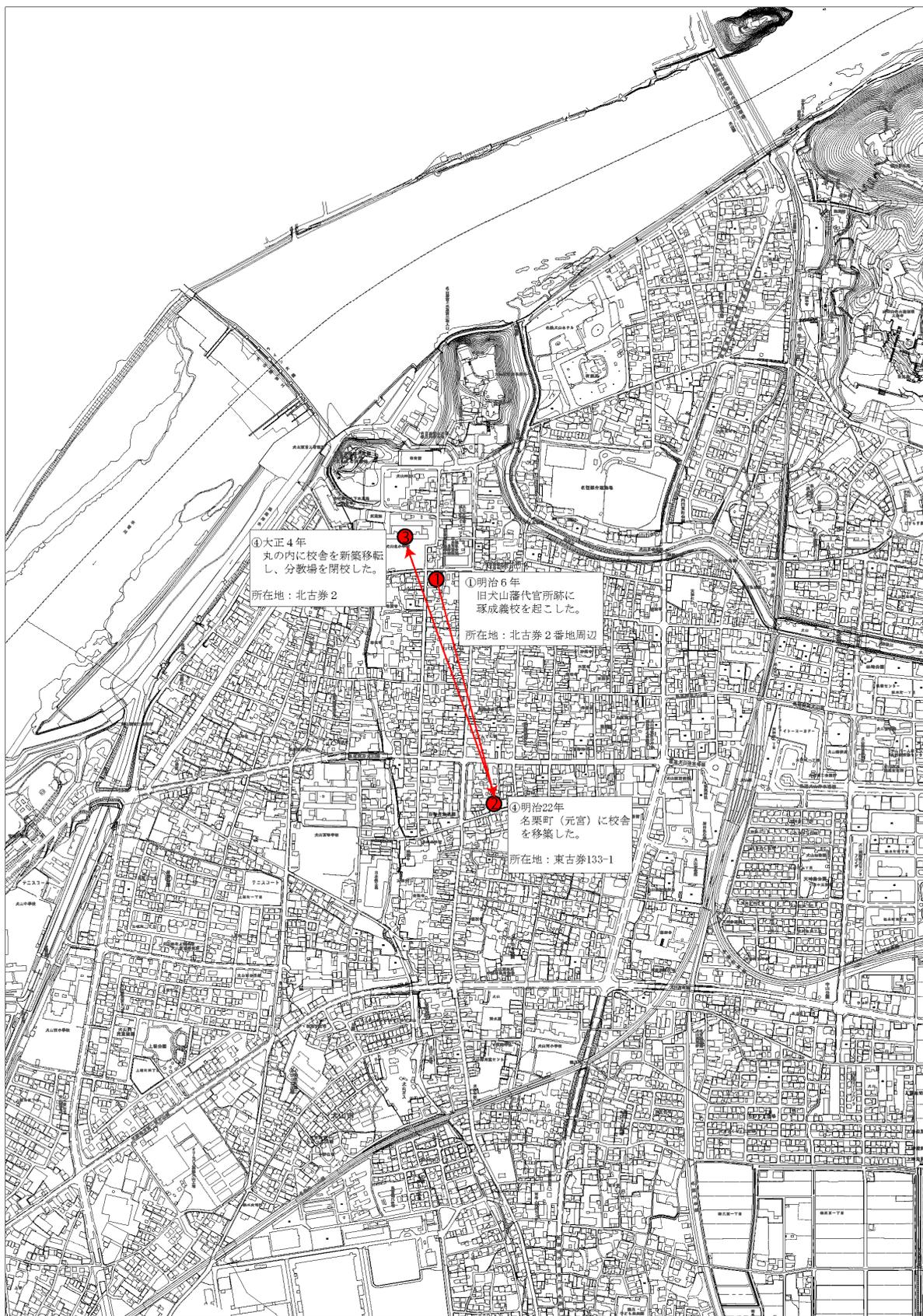
(9) 昭和16年

「犬山町立北国民学校」と改称した。

(10) 昭和29年

市制施行により、「犬山市立犬山北小学校」に校名を改称。

## ■ 犬山市立犬山北小学校位置の変遷について



■ 写真で見る昭和と現在（平成27年）の犬山市立犬山北小学校の様子



写真 市制施行前（昭和28年代）の犬山市立北小学校の様子 ※犬山市所蔵



写真 現在（平成27年）の犬山市立北小学校の様子

## ② 犬山市立犬山南小学校の変遷について

### ■ 犬山市立犬山南小学校の変遷

※『学校沿革誌』を参考

(1) 明治5年

学制の公布により、現犬山町大字五郎丸字狭間にあった庚申堂に仮義校を起こした。

●所在地：犬山町大字五郎丸字下前田10【庚申堂：現在の正法山鷲嶺寺】

(2) 明治6年

「富士見学校」と改称。

(3) 明治16年1月

富士見学校が二校に分れ、一つは現大字橋爪字幅屋敷にある熊野神社に新築移転し、もう一つは旧富士見学校の場所に位置。前者を「橋爪学校」、後者を「富士見学校」。

●所在地：①大字橋爪字幅屋敷53【橋爪学校：現在の熊野神社の場所】

②犬山町大字五郎丸字下前田10【富士見学校：現在の正法山鷲嶺寺】

(4) 明治20年

橋爪学校及び五郎丸学校は廃校になり、扶桑村にある「高雄学校」に合併されたが、通学の不便さやその他事情により明治21年6月に分離し、「高雄分校」となり大字橋爪字西五番地に移転した。

●所在地：大字橋爪字西浦5【高雄分校】

(5) 明治23年

「岩橋尋常小学校」と改称。

(6) 明治40年

町村合併の結果、明治40年4月30日岩橋尋常小学校は廃校となり、「犬山町立第二尋常小学校」と改称した。

(7) 明治42年9月1日

大字橋爪字末友及び大字犬山字神ノ木にある新築校舎に移転。

●所在地：①大字橋爪字末友25-1 ②大字犬山字神ノ木3

(8) 明治42年10月6日

「犬山南尋常小学校」と改称。

(9) 明治44年4月1日

大字犬山外町の徳授寺に仮教場に教室を置いた。

●所在地：南古券232【仮教場：徳授寺内】

(10) 大正4年10月

徳授寺に設置した仮教を廃止。

(11) 大正10年4月1日

高等科を併置し、「犬山南尋常高等小学校」と改称。

(12) 昭和16年4月1日

国民学校令施行により、「愛知県丹羽郡犬山町南国民学校」と改称。

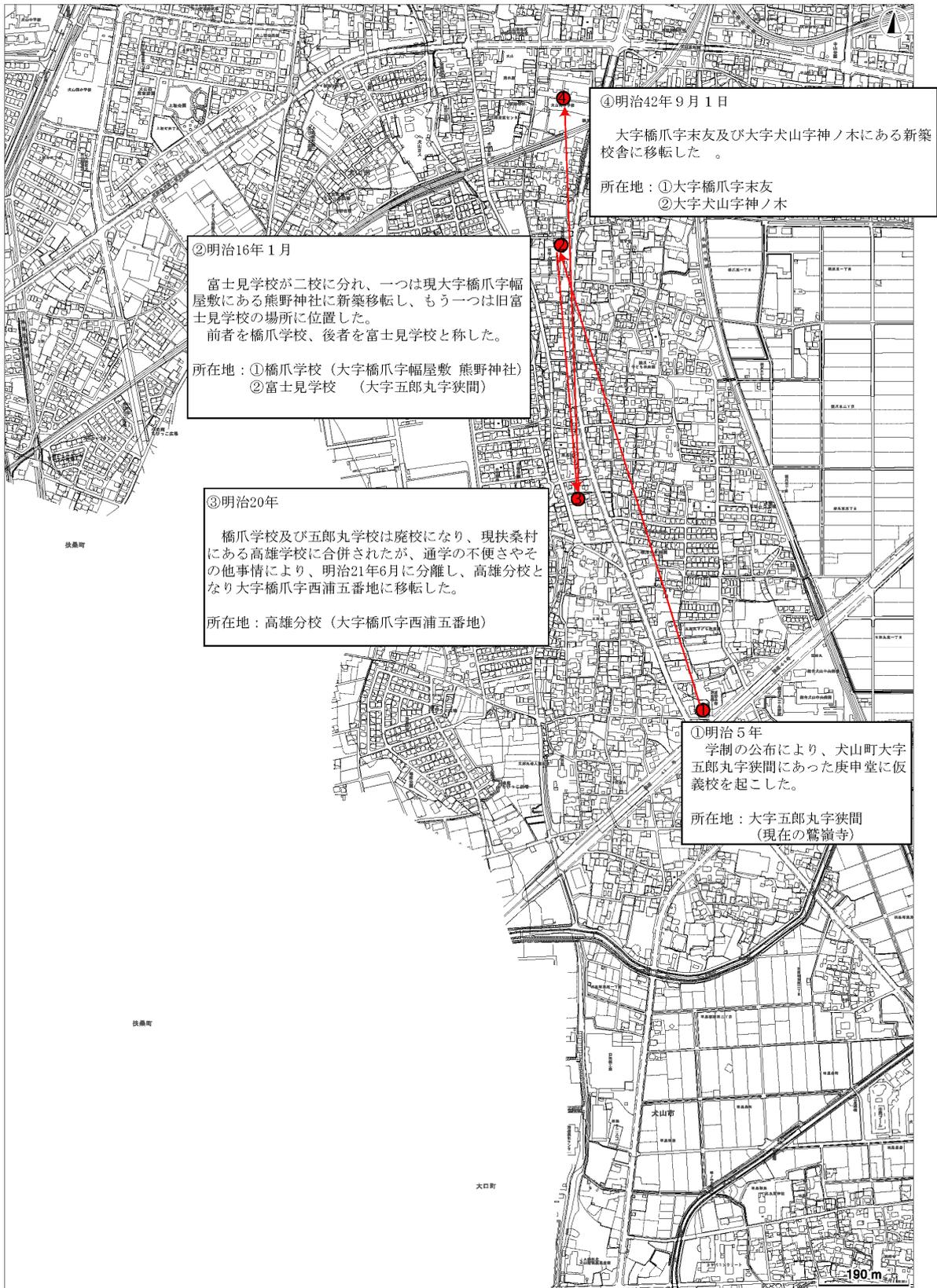
(13) 昭和22年4月1日

学制改革により、「愛知県丹羽郡犬山町立犬山南小学校」と改称。

(14) 昭和29年4月1日

市制施行により、「犬山市立犬山南小学校」と改称

## ■ 犬山市立犬山南小学校位置の変遷について



1/7200

■ 写真で見る昭和と現在（平成27年）の犬山市立犬山南小学校の様子



写真 市制施行前（昭和28年代）の犬山市立南小学校の様子 ※犬山市所蔵



写真 現在（平成27年）の犬山市立南小学校の様子

### ③ 犬山市立犬山中学校の変遷について

#### ■ 犬山市立犬山中学校の変遷

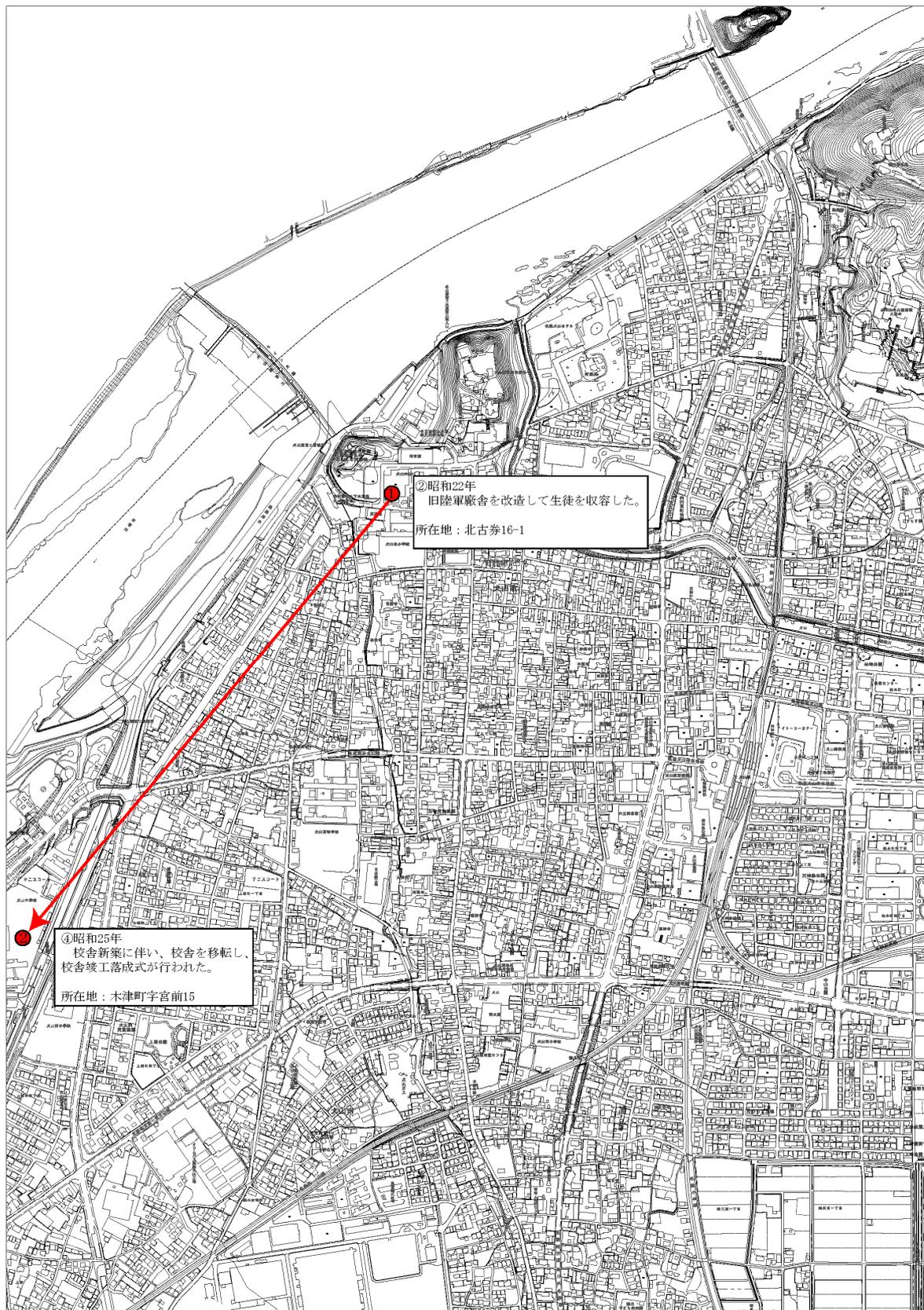
※「犬山中学校沿革史」を参考

- (1) 昭和22年4月1日  
学校教育法が施行され、6・3制が誕生した。
- (2) 昭和22年4月24日  
旧陸軍廠舎を改造して生徒を収容した。  
●所在地：北古券16-1【元陸軍工兵隊演習廠舎】
- (3) 昭和23年7月5日  
児童の一部(2、3年生)を新校舎に移転し、1年生は引き続き仮校舎で授業を行った。
- (4) 昭和24年6月2日  
校舎新築に伴い、校舎を移転し、校舎竣工落成式が行われた。  
●所在地：木津町字宮前15【現在地】
- (5) 昭和29年4月1日  
市制施行により「犬山市立犬山中学校」と改称した。

#### ■ 犬山中学校が開校するまでの経緯

- 昭和22年4月1日より学校教育法が施行され、いわゆる6・3制が誕生し、犬山にも犬山中学校が建設される運びとなった。しかし、旧制小学校しかなかった当時の犬山町は中学校校舎・校庭設置の必要に迫られ、津町宮所在の町有地に校舎新築の計画を立てたが、戦後の混乱期のことであり、町財政上、校舎新築の資金繰りの目途が容易につかなかった。
- 犬山市はやむなく陸軍廠舎建築物等の払下げを受け、暫定的に陸軍廠舎建築物の一部を教室や職員室にあてることとし、これを犬山中学校の仮校舎として新中学を発足した。(土地は依然として国有地のままであった。)
- 犬山中学校校舎は、事業者の寄付金等により昭和24、25年前期頃、木津町字宮前に新築され、新校舎へ移転することとなった。

## ■ 犬山市立犬山中学校位置の変遷について



■ 写真で見る昭和と現在（平成27年）の犬山市立犬山中学校の様子

---



写真 市制施行前（昭和28年）の犬山市立犬山中学校 ※犬山市所蔵



写真 現在（平成27年）の犬山市立犬山中学校の様子

**④ 愛知県立犬山高等学校の変遷について ※愛知県立犬山高等学校「70年のあゆみ」を参考**

(1) 明治44年5月2日

「犬山町城東村学校組合犬山実科高等女学校」として設立認可を受けた。

(修業年限2か年、生徒定員80名)

(2) 明治44年6月15日

犬山高等小学校敷地内に犬山高等学校の前身である「犬山町城東村学校組合立犬山実家高等女学校」を開校した。

●所在地：北古券9【現在の文化史料館の場所】

(3) 大正8年

組合立を変更し、犬山町だけで設置することになり、実科高等女学校から高等女学校へと改められ、「愛知県丹羽郡犬山町立高等女学校」と校名を改称。

(4) 大正15年6月1日

犬山町北首塚に新築二階建て校舎が完成。

●所在地：北首塚2【現在地】

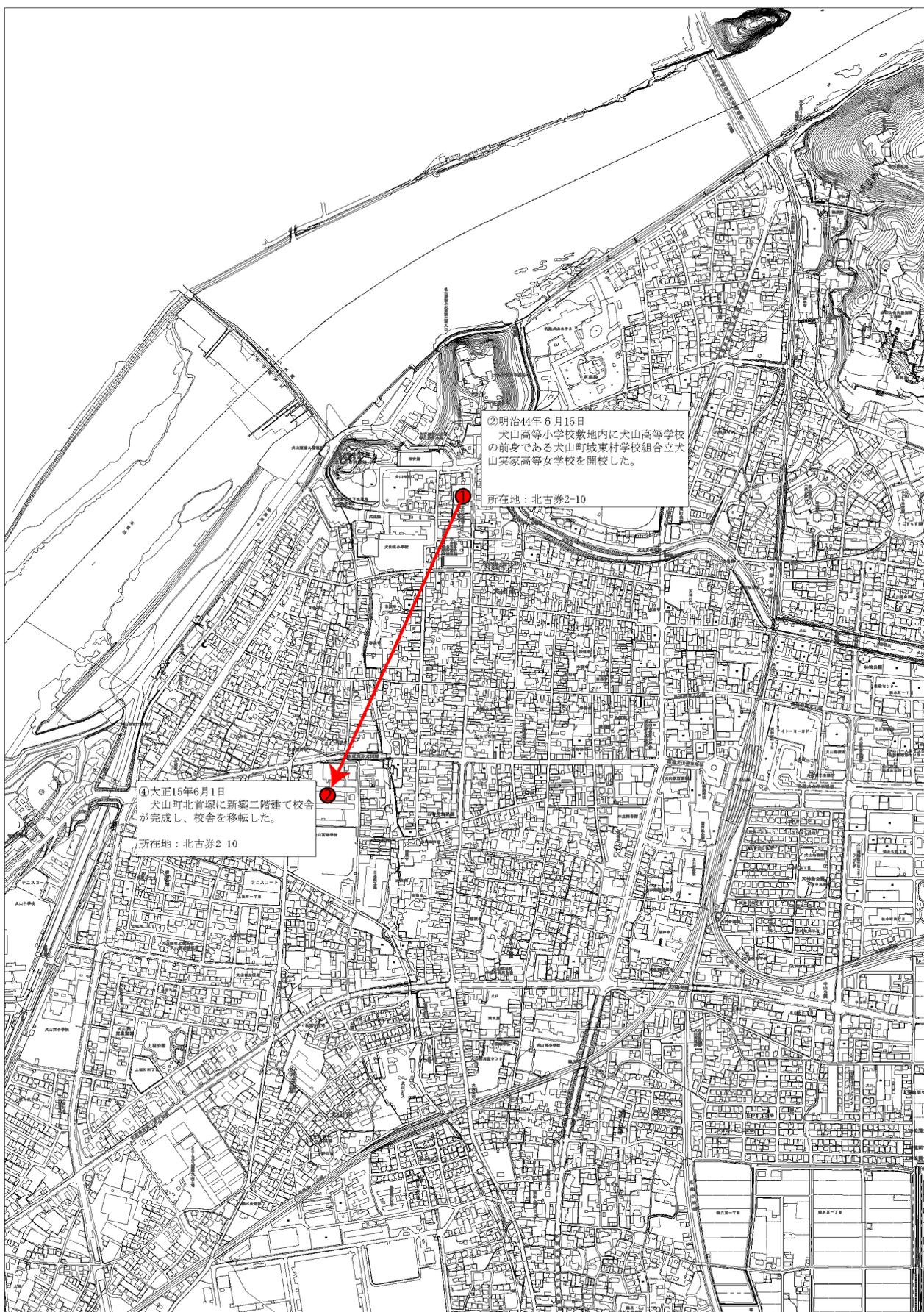
(5) 昭和4年1月1日

建物・備品のすべてが愛知県に移管され、「愛知県立犬山高等女学校」と改称。

(6) 昭和23年4月1日

「愛知県立犬山高等学校」と校名を改称。

## ■ 愛知県立犬山高等学校位置の変遷について



■ 写真で見る昭和と現在（平成27年）の愛知県立犬山高等学校の様子



写真1 市制施行前（昭和28年）の愛知県立犬山高等学校の様子 ※犬山市所蔵



写真 現在（平成27年）の愛知県立犬山高等学校の様子

## ⑤ 犬山市立犬山幼稚園の変遷について

### ■ 犬山市立犬山幼稚園の変遷

※「犬山幼稚園沿革史」を参考

(1) 大正2年11月1日

「私立犬山幼稚園」として発足。

●所在地：現在の東古券760番地周辺犬山市壮年会館内【犬山壮年会館敷地内】

(2) 大正5年6月

園舎を新築し、「犬山町立犬山幼稚園」となった。

●所在地：東古券113-3【名栗町 元宮】

(3) 昭和29年

犬山市制施行により、「犬山市立犬山幼稚園」となった。

(4) 昭和36年3月

園舎を新築し、御幸町に移転した。

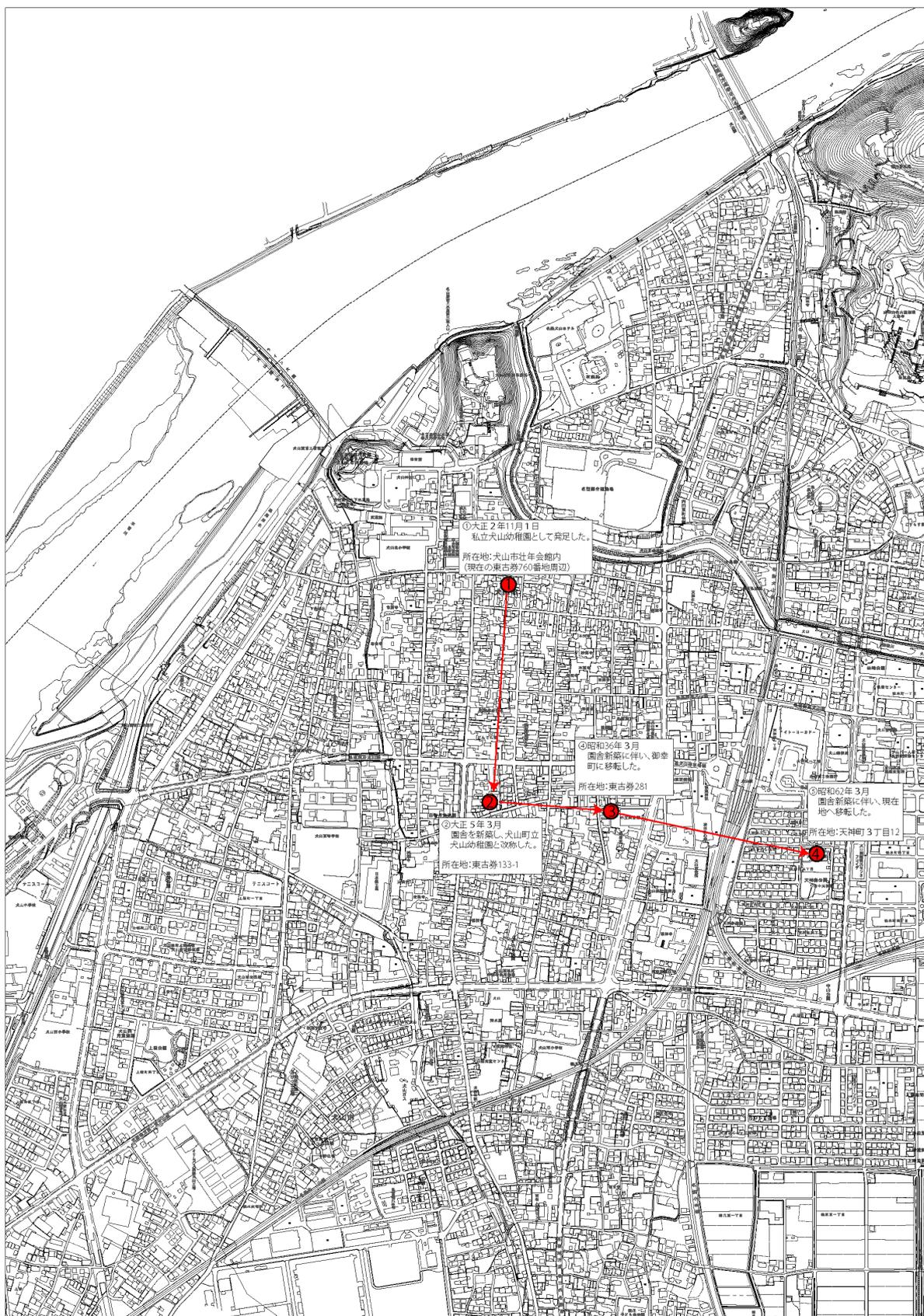
●所在地：東古券281【御幸町：現在の犬山市私立図書館の横】

(5) 昭和62年3月

防音園舎を新築し、現在地に移転。

●所在地：天神町3-12

## ■ 犬山市立犬山幼稚園位置の変遷



■ 写真で見る昭和と現在（平成27年）の犬山立犬山幼稚園の様子



写真1 現在の犬山市立犬山幼稚園の様子

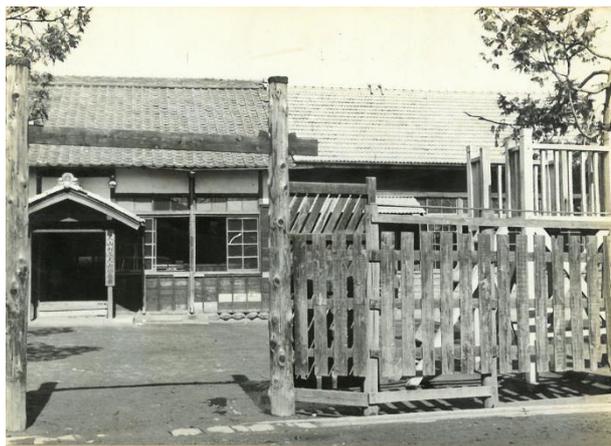


写真2 市制施行前の犬山町立犬山幼稚園の様子



写真3 市制施行前の犬山市立犬山幼稚園の様子



写真4 市制施行前の犬山市立犬山幼稚園の様子



写真5 市制施行前の犬山市立犬山幼稚園の様子



写真6 市制施行前の犬山市立犬山幼稚園の様子

※写真2～6は犬山市所蔵

## 4. 犬山城下町における神社の変遷

### ① 針綱神社の変遷について

#### ■ 針綱神社の変遷

※「犬山市史史料編6」及び「犬山市の神社」を参考

#### (1) 創建不明

現在の犬山城天守あたりに針綱神社を創建。

●所在地：現在の犬山城天守あたり

#### (2) 天文6年(1537)

犬山木下城を三光寺山に移した際に、白山平に移転。

●所在地：白山平

#### (3) 慶長11年(1606)

城下経営の一環として、針綱神社を名栗町へ遷座。

●所在地：名栗町113-3

#### (4) 明治15年(1872)

犬山城郭の変化に伴い、現在地に移転。

●所在地：北古券65-1

#### ■ 針綱神社について

※歴史まちづくり課所蔵『犬山の神社』を参考

- 創建の年代は明らかではないが、延喜式神明帳に記載のある式内社で、本国帳貞治本に「丹羽郡従一位針綱明神」とあることから考察すると、歴史の古い神社で、神名からもわかるように、尾張氏の先祖を祀る古い神社である。往古は城山の頂上、現犬山城天守台辺りに鎮座し、宮領二百町歩、東の田中天神と西の坂下大縣社を末社とし、三光寺を神宮寺とする規模壮大な尾張北部の鎮護、守護神社であった。
- 天文6年(1537)、織田信秀(信長の父)の弟、織田信康が、犬山木下城を三光寺山に移した際に、そこに鎮座する針綱神社を東方の白山平に移し、「白山大明理権現」と唱え崇拝した。
- 針綱の針は墾の意味をもち、綱は張縄すなわちしめ縄を表すとも、また御祭神の尻調根命の調の転化の綱または尾綱根命の綱という。このことから、この神社は白山の神と尾張氏、邇波氏の祖先を祀る神社であることがわかる。
- 慶長11年(1606)、犬山城主小笠原和泉守吉次は、城下経営の一環として、針綱神社を名栗町へ遷座させ城下町の繁栄を図ったが、以来明治15年の再々遷座まで名栗町に位置して276年経過している。
- 明治15年(1872)、犬山城城郭の変化に伴い、針綱神社は城山の中腹、現在地に還御された。針綱神社は代々犬山城主の尊崇を受け、近傍の人々の崇拝を集めた神社である。神社が名栗町に遷座していた際にも、犬山城郭内の守り神として三狐神社を祭祀していたという。

■写真で見る昭和と現在（平成27年）の針綱神社の様子



写真1 昭和28年代の針綱神社の様子 ※犬山市所蔵



写真1 現在（平成27年）の針綱神社の様子

## ② 犬山神社の変遷について

### ■ 犬山神社の変遷

※『犬山市史史料編6』及び『犬山の神社』を参考

(1) 享保2年(1717)

仮遷座させていた犬山城閣内に遷座。

●所在地：不明

(2) 明治16年

神社を北古券12番地に移転。

●所在地：北古券12

(3) 昭和38年

一部敷地を体育館駐車場として転用するため、神社を移転。

●所在地：北古券12-17

(4) 平成8年

公共駐車場整備に伴う道路拡張工事のため、神社位置を移転。

●所在地：北古券12、12-1、12-4、12-7、12-16

### ■ 犬山神社について

※歴史まちづくり課所蔵『犬山の神社』を参考

○ 正徳4年(1714)

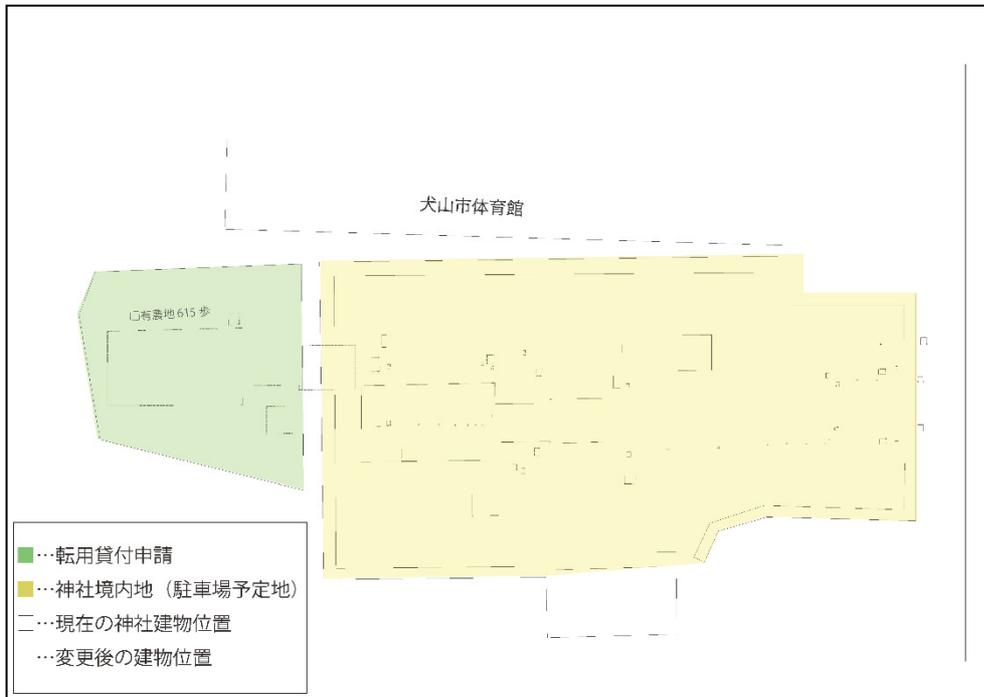
犬山城主成瀬氏4代、因幡守、隼人正、成瀬正幸が創祀した相生神社を起源とする。正幸は当時、犬山の東郷丸山の相生山(現・モンキーパーク南)に置かれていた妙感寺墓地を富岡村の別所(現・別祖)に移して山上をならし宮地とした。四方に濠を穿ち、檜皮葺4社、御供物殿、御神楽殿、拝殿、護神馬舎、反り橋等を設けた。

○ 享保2年(1717)

それまで犬山城内に仮鎮座させていた相生社を行粧厳かな中にも華麗に家中武士多くを供奉させて遷座させたという。この年は、城主正幸の隠居の都市の15年前で尾張藩候徳川次友の治世である。以来、明治に至るまで社人が旧宮に奉仕し、朝夕は御神楽の奏樂があったという。廃藩後この相生神社は犬山町が奉祀することになった。

○ 明治16年(1883)

犬山神社と改称して、旧西御殿跡(現在地)に遷座させ、祭神を増祀した。



昭和38年体育館駐車場整備に伴う犬山神社移転予定図

※犬山神社移転に関わる資料を加工



写真1

昭和28年代の犬山神社の様子

※犬山市所蔵



写真1

現在(平成27年)の犬山神社の様子

### ③ 三光稲荷神社の変遷について

#### ■ 三光稲荷神社の変遷

※「犬山市史史料編6」及び「犬山市の神社」を参考

(1) 800年代

三光稲荷神社 創建。

創建より織田信康の犬山城築城（天文6年（1537））まで三光寺山に鎮座。

(2) 天文6年（1537）

三光寺山から坂下中切村へ遷座。

●所在地：井堀町東端北側

(3) 明治9年（1876）

坂下中切村から三光寺山に遷座。

●所在地：北古券41-1（現在の丸の内緑地公園）

(4) 昭和39年（1964）

三光寺山から犬山城登閣口の現在地に遷座。

●所在地：北古券65-3

(5) 昭和49年（1974）

本殿を稲置神社とし、佐田彦神の別殿に分祀。

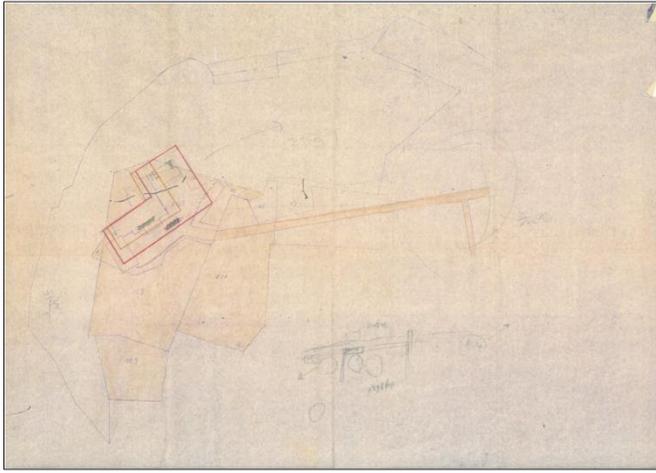
#### ■ 三光稲荷神社が移転した経緯

※「昭和47年度 三光稲荷神社関係綴」を参考

昭和36年当時、犬山市体育館建設にあたり、その用地として三光稲荷神社の一部が必要になった。市と三光稲荷神社との協議の結果、三光稲荷神社を移転することとなった。移転先として当時、原野に等しかった現在の地を選定し、旧三光稲荷神社の境内地を犬山市が買い受けることになったが、宗教法人のため登記手続きを進めるにあたって諸問題があり、手続きに時間がかかることがわかった。犬山市体育館の建設時期が迫っていたため、登記移転が終わる前に、体育館の建設が始まり、昭和38年に完成した。三光稲荷神社は昭和39年、現在地に移転した。

昭和37年3月31日に、三光稲荷神社の移転先の土地が保安林に指定された。すぐに保有林指定の解除申請を出すべきであったが、所有権移転が未完了であり、その後の登記に日時を要した。昭和48年3月に三光稲荷神社と話し合いがまとまり、その後、三光稲荷神社に所有権が移転したことを受けて、現在三光稲荷神社境内地となっている犬山市大字北古券65-18、65-19、及び65-20の保安林解除の申請を行なった。

補足：昭和36年当時、現在三光稲荷神社がある場所は空堀で、雑草が繁茂し豪雨でもあれば水溜りができ、蚊や蠅が発生する風評の悪い場所であった。また、この地の東面は針綱神社に面し各氏神を守護していること、南面は都市計画広場に隣接していること、西面には国宝犬山城への参道があることから、観光部局は清掃及び衛生管理に頭を悩ませていた。三光稲荷神社の移転は、これらの問題を一掃する目的もあった。



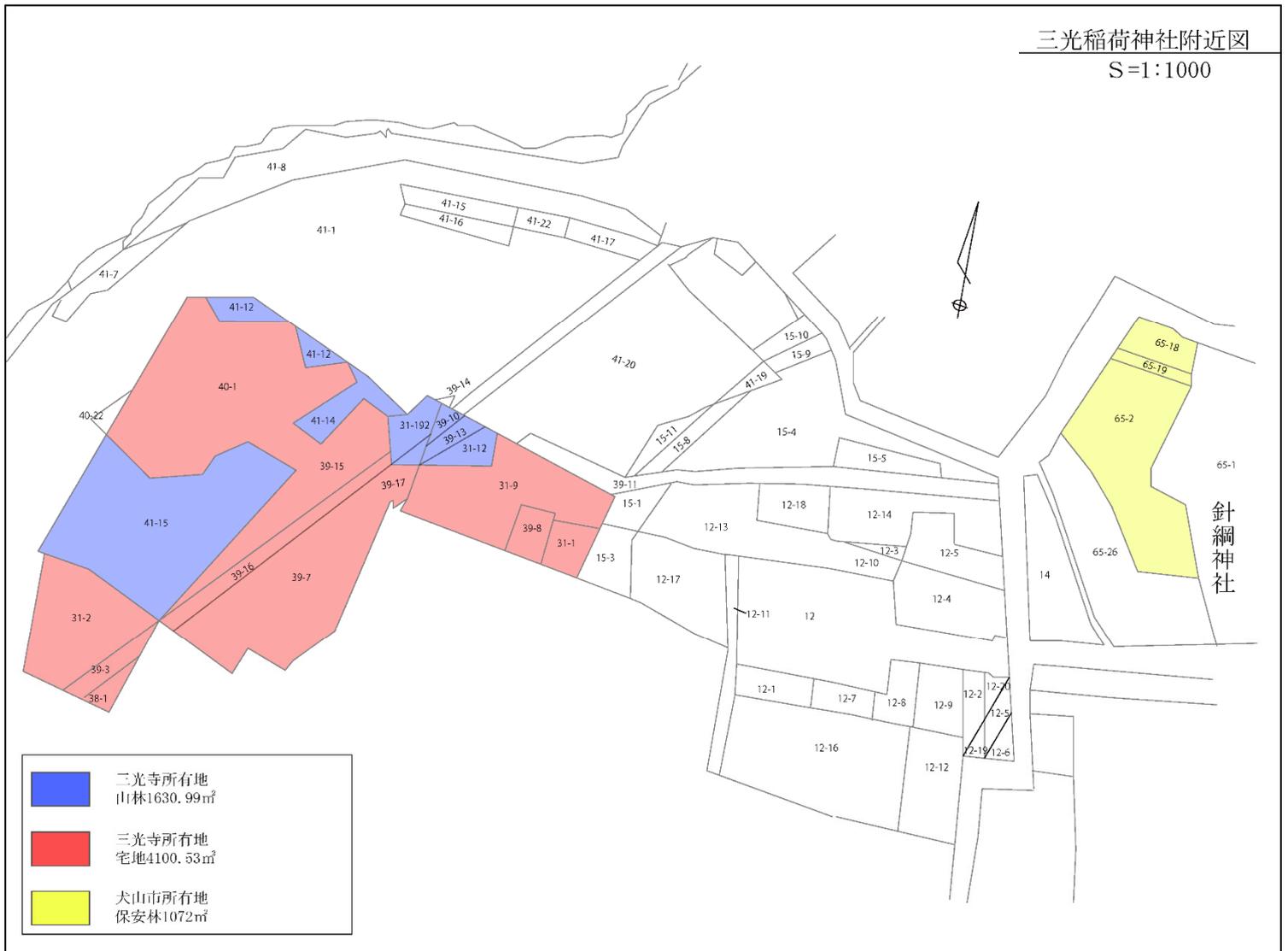
三光稲荷神社の位置図

※三光稲荷神社移転に関する資料より引用



昭和36年時点の三光稲荷神社 社の位置

※国土地理院撮影の空中写真(1961年撮影)を加工



三光稲荷神社周辺の土地利用区分

※三光稲荷神社移転に関わる資料を加工

■ 三光稲荷神社に関わる土地所有状況 ※「昭和47年度 三光稲荷神社関係綴」を参考

昭和38年に神社を移転してから、市所有の土地を三光稲荷神社が使用しており、三光稲荷神社所有の土地を犬山市が使用していた。地番、その他地目については、以下のとおり。

○ 所有者：犬山市

使用者：三光稲荷神社が境内地として無償使用中

大字	字	地番			経過
犬山	北古券	66-18	保安林	247.93	S39.8.7 成瀬正雄より寄附
〃	〃	65-19	〃	89.25	〃
〃	〃	65-20	〃	1.5360	〃
〃	〃	65-26	〃	1.0350	S46.5.18 より分筆

○ 所有者：三光稲荷神社

犬山市大字犬山字北古券 41-1

大字	字	地番	地目	地積 (㎡)	経過
犬山	北古券	38-1	宅地	23.14	
〃	〃	38-2	〃	595.66	S46.12.27 38-1 より分筆
〃	〃	38-3	〃	91.94	〃
〃	〃	39-1	〃	135.53	〃
〃	〃	39-7	〃	791.82	〃
〃	〃	39-8	〃	91.63	〃
〃	〃	39-9	〃	538.84	〃
〃	〃	39-15	〃	413.74	S46.12.27 38-1 より分筆
〃	〃	39-16	〃	141.57	〃
〃	〃	39-17	〃	8.24	〃
〃	〃	39-4	〃	1268.42	〃
〃	〃	39-10	山林	20	〃
〃	〃	39-12	〃	28	〃
〃	〃	39-13	〃	85	S46.12.27 39-10 より分筆
〃	〃	39-14	〃	44	〃
〃	〃	39-18	〃	0.18	〃
〃	〃	39-19	〃	11	S46.12.27 39-4 より分筆
〃	〃	39-20	〃	117	〃
〃	〃	40-1	〃	3.01	
〃	〃	41-12	〃	49	
〃	〃	41-13	〃	39	
〃	〃	41-14	〃	115	
〃	〃	41-15	〃	1119	
〃	〃	41-23	〃	0.80	



昭和49年三光稲荷神社の様子 その1 ※犬山市所蔵



昭和49年三光稲荷神社の様子 その2 ※犬山市所蔵

## 参考文献

- ◆ 犬山市教育委員会犬山市史編さん委員会編集「犬山市史通史編上」1989. 3. 10
- ◆ 犬山市教育委員会犬山市史編さん委員会編集「犬山市史通史編下」1989. 3. 10
- ◆ 犬山市教育委員会犬山市史編さん委員会編集「犬山市史史料編6」1989. 3. 10
- ◆ 愛知県犬山市立犬山北小学校編集「沿革誌」1965. 10]
- ◆ 70周年記念詩委員会編集「70年の歩み」1980. 11]

## 参考資料

- ◆ 犬山市所蔵「犬山製毛株式会社事件関係綴」
- ◆ 犬山南小学校所蔵「学校沿革史」
- ◆ 犬山市所蔵「市有建物台帳」
- ◆ 犬山市所蔵「町村合併関係綴」
- ◆ 犬山市所蔵「昭和47年度 三光稻荷神社関係綴」
- ◆ 犬山市所蔵「検察庁裁判所移転関係」
- ◆ 犬山市所蔵「昭和55年起 犬山警察署交換用地取得事業綴」
- ◆ 犬山市所蔵「明治9年 古券図」